

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
 事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
 お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
 土・日曜日及び祝日を除く毎日
 AM9:00～PM5:45
- * 場 所
 市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
 教育相談センター
 電話相談・面接相談 273-5105（直通）
 （秘密厳守）

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
 原則として月・水・金曜日とします
 AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
 千曲市役所 戸倉庁舎 3階
 少年育成センター（生涯学習課内）
 電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）
 （秘密厳守）

今月の家庭の日9月18日（日）

秋の交通安全週間にあたって、子どもの安全について関心を高め、通学路や地域の危険箇所等の様子を家族一緒に確かめるなどをして、子どもの安全を守りましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.nagano.jp](mailto:youth@city.chikuma.nagano.jp)

相談員がメールでお答えします。
 （秘密厳守）

優しさの連鎖

戸倉上山田地区児童館職員

暑い暑い夏休みも終わり、二学期がスタートしました。児童館にも毎日元気な声が響き渡っています。

さて、児童館の遊びの中に一輪車があります。すでにスイスイと乗りこなしている子ども、もう少して乗れるようになる子ども、そして一輪車に初めてトライしている子ども、様々な段階の子どもたちがいます。トライし始めた子どもたちは、バランスを取りながら必死にフェンスにつかまり、ほんの少しずつ前進をしています。前進が少しでもできると、「先生、手を貸してください！」と声をかけてきます。職員の数は限られているので、すぐに手を貸してあげられずにいると、「先生、僕がお手伝いしてあげる。」と自分も一輪車を楽しみたいにもかかわらず、友達のもとへ向かってくれるのです。まだフェンスで練習をしなければいけない段階の仲間へのお手伝いは、結構体力がいります。一輪車から落ちたくない子どもは、手を引いてもらっているお友達に全面的に身体を委ねてきます。ですから、その友達には相当な力がかかっているはずなのです。でも、「頑張っ！上手！上手！」と一生懸命相手に声をかけています。そして、少しでも乗れるようになったときには、自分のことのように私たちに嬉しそうに話に来てくれます。「R君、手を貸してあげてあげがとう。」と言うと、「自分もお友達に手伝ってもらったことがあるから。」と。手を貸してもらった子どもは友達の優しさを感じ、これからトライする友達に、人から言われなくても手を貸してあげることがきつとできるようになるでしょう。

このように、遊びの中で共に学びあっていくことが自然にできていくことは、素晴らしいと思います。何気ない日常の中で、このような経験ができる場面は沢山あると思います。その経験は優しさの連鎖に繋がります。友達の思いやることができるようになっていくでしょう。



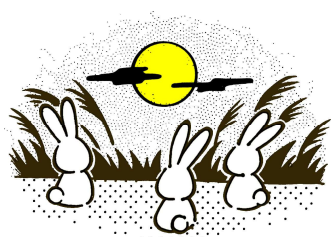
第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

—小遣いを与える時にはルールも—

～育成センターの活動より～

夏場の活動の様子や今後の予定について報告いたします。

- 1 7月19日～26日に、青少年に有害な社会環境を排除するための「環境チェック活動」を行いました。
- 2 小・中学校が夏休みに入り、7月26日から8月5日に学区ごと補導委員1とPTA（先生1・保護者役員2）による合同補導を実施しました。
- 3 「戸倉上山田温泉夏まつり」「千曲川納涼煙火大会」の当日、補導委員と育成センター職員による夏まつり補導活動を実施しました。千曲夏祭り、屋代夏祭り（一重山不動尊縁日）では、地区補導委員が補導活動を実施しました。各お祭り会場とも子ども達による問題行動は見られませんでした。
- 4 9月・10月は、上旬と下旬に巡回補導を計画しています。



補導日誌から



公園内の自転車乗り入れについて

『ふれあい公園には小さな子ども達がお母さんと噴水で大勢遊んでいてよかったです、公園内に中学生の乗ってきた自転車が3台有り、中学生に注意をしました。（公園内乗入禁止）』『ふれあい公園の近所の方の話では、最近特に公園内に小学生達が自転車を乗入れているのが目立つとのこと。小さな子どもさんが多く遊びに来ているので事故が心配です。』このような記述がありました。ルールを守ってくださる皆さんにより、公園の安全が確保されています。誰もが安心して遊べる場所であるように、これからも皆さんの声掛け等により、『ここでは自転車は乗れない』という環境になればと思います。

環境美化のお手伝いも

7月14日（木） 5:00pm～ 7:00

今回の巡回場所は公園が多いので、補導委員の一人が自宅からゴミ袋とゴミバサミを持参していました。小雨から雨の上がった緑鮮やかな各公園で、ゴミ拾いもしました。酷暑が続きます。公園の緑が深みを増すごとに、少年補導の活動も濃厚さを増していくような気がします。

環境チェック活動（東小学校区）

7月20日（水） 3:00pm～ 5:00

環境チェック活動に対しては、各種業界の皆様方が活動の趣旨を理解してくださり、協力を約束していただきました。緊急時に子ども達が駆け込むことができる『こどもを守る安心の家』があります。理容店・美容店の全店で協力体制ができている、とのお話をお聞きしました。真に心強く感謝で一杯です。

環境チェック活動（五加小学校区）

7月25日（月） 3:00pm～ 5:00

有害環境の有無・配慮状況等、健全育成に関わるチェック項目は、どこも徹底されていました。店舗のご理解とご協力の背景には、今までの補導委員の皆様のご貢献が大きいのではと感じました。チェック活動中、学校から帰宅中の子ども達を見ました。思った以上に安全意識が高く、整然と歩いている姿が目につき感心しました。

PTAとの合同補導（東小学校区）

7月26日（火） 4:30pm～ 6:30

普段、子ども達が放課後集まりやすい場所の確認をしました。併せて危険個所の確認もできました。

雨天のため、外で遊ぶ子どもの姿はありませんでした。子ども達の校外での生活指導は、これからも継続的に学校で取り組んでいただくようお願いをしました。ただ、学区外のコンビニに1人で立ち読みをしている子どもがいたので、すぐに帰宅させました。

PTAとの合同補導（埴生小学校区）

7月28日（木） 4:30pm～ 6:30

A店のゲームコーナーには子ども達はいなく、お客様も1人でした。巡回後、先生やPTAの役員の方は、「小学生の問題が1つも話題に上がらなかったのがとてもうれしかった。小学生をととても誇りに思う。」と喜ばれ、合同補導を終えました。今後共、補導委員会、学校、地域の皆様と共に目を配り、気を配り歩んで行きたいと思いました。

PTAとの合同補導（更埴西中学校区）

8月 1日（月） 4:30pm～ 6:30

バイパス沿いの各店舗では、買い物の主婦はいましたが、中学生はほとんどいませんでした。また、各店の責任者の方と話をしましたが、最近では万引き等の事例はないとのことでした。桑原体育館では、ハンドボールの練習をしている中学生男子6人、女子3人がいました。「こんにちは！」と声をかけると、元気な返事が返ってきました。6時には帰るよう声がけをしました。

夏祭り補導（上山田温泉祭り）

7月16日（土） 8:00pm～10:00

上山田温泉祭りのため、夜のパトロールを実施しました。二手に分かれパトロールをしましたが、特に異状はありませんでした。ただ、観光ホテル跡地の無断駐車が気になりました。温泉祭りのためか、今日は多かったです。

夏祭り補導（一重山祭り）

7月28日（木） 7:00pm～ 9:00

多くの子ども達が集まってきましたが、特に気になる行動をする子どもはいませんでした。神社の裏側に駐輪スペースがありましたが、カギをかけていない自転車が多いのが気になりました。

一重山（成田山不動尊）の方は親同伴の子どもは多くいましたが、子ども達だけのグループはいませんでした。神社内、歩行者天国の巡回を続けました。やや暗い場所で、ゲーム等をして遊んでいた子ども達もいたので、問題はないようでしたが声をかけて回りました。

編集室の窓

「こんにちは」「すみません」があふれている場所

山の中の滝を目指して…湿原の山野草を捜して…遊歩道を歩きました。里山に登ろうと、登山道を歩きました。そこには、気を張って生活している毎日とは少し違う、『やさしい世界』がありました。

すれ違う時に、だれもが「こんにちは」と笑顔で挨拶をしていきます。時には「もう少しだから、頑張て！」と励ましの声を添えて。狭い場所では、端によけて待っていている人がいます。自然と「有難うございます、すみません。」と頭が下がります。初対面の見知らぬ者同士なのに、老いも若きもよく声を掛け合ってすれ違っていきます、そういうものだと思いながらも、やはり驚きでした。

自然の中では、なぜかそんな雰囲気になります。休憩場所で隣同士になると、「こんにちは。どちらから？」と続きます。世間話の後、「お先に」の一言であっさりと別れてしまうのですが、笑顔があふれます。心温まるひとときの交流が、あちこちで行われています。相手がいるから「こんにちは」が言え、相手の善意に「有難うございます」が言えます。ひとときの交流があるから「お先に」が言えます。

見知らぬ人と触れ合え、会話も弾む…頑張らなくても。これが自然の持つ癒しの力なのでしょう。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介합니다。

わたしは大人になったら、かいごふくししになりたいです。お母さんの仕事を見に行ったとき、おばあちゃんたちがニコニコしてしあわせそうで、わたしもおばあちゃんたちを、こんなふうになんニコ顔にしてあげたいなあと思いました。わたしは、おじいちゃん、おばあちゃんとやさしい言葉でお話できる、かいごふくししになりたいです。おばあちゃんたちといっしょにパズルをして遊びたいです。やさしいかいごふくししになるために、たくさんの方たちと仲良くして、いろいろな人にやさしくしたいです。おじいちゃん、おばあちゃんが元気にすごせるようにサポートしたいです。

3年 横田 愛美さん

ぼくは、大工さんになりたいです。ぼくが大工さんになりたいと思ったきっかけは、おじいちゃんが大工さんだからです。おじいちゃんは木で、いろいろな物を作ります。ぼくも、大工さんになってお母さんやお父さんに、木の物をいっぱい作ってあげたいです。今、大工さんになるためにがんばっている事は、木の物をいろいろ作る事です。大工さんは力があるので、体をきたえる事です。工作で、かならず木の物を作ることです。そして、大工さんが家を作っているところをよく見たいです。

3年 北澤 康汰さん

わたしのしょうらいのゆめは、動物びょういんの先生になる事です。どうしてなりたかといううと、外でけがをしている動物やびょう気になっている犬たちを見た時に、動物たちをまもりたかと思つたからです。いつも、動物びょういんに行くと、先生が一生けんめいであつこよくて、小さいころからのゆめだつたからです。わたしは、動物にも、かい主さんにもやさしい先生になりたいです。動物の本をいっぱい読んで動物たちが苦しんでいたり、けがをしていたりしたら、直してあげられる先生になりたいです。

3年 武井 心那さん

私のゆめは、びょうしになることです。なりたかと思つたわけはいろいろな人のかみの毛を切つたり、かわいくしたいからです。びょうしになったら、みんなをかわいくして喜んでもらいたかです。今、びょうしになるためにがんばっていることは、自分のかみの毛をひとりではげられるようになることです。おとなになつてりっぱなびょうしになれるようにがんばりたいです。

これからもいろいろかながえてがんばつていきたいです。

3年 村瀬 優菜さん

わたしのゆめは、ほいくえんの先生になることです。わたしがほいくえんの先生になつたらがんばりたいことは、子どもたちとごはんを食べたり遊んだり、本を読んだりしたいです。できるだけいっしょに遊んで「ゆな先生、いっしょにおにごつこしよう」といつてほしいです。みんなをえがおにしたいです。

3年 松崎 優奈さん

わたしのゆめは、金魚やさんです。たくさんの方をそだてたり、めんどうを見たりしてあげたいです。えさや、すいそうをあらつたりしながら、金魚がげんきにそだつようにおてつだいたいです。わたしの金魚やさんのお魚がげんきにそだつてほしいです。

3年 佐久間 菜奈さん

ぼくのゆめは、レゴを作る人です。かんせいするとすごくうれしくなります。レゴにはたくさんの方のしゅるいがあります。ぼくの作品をみんなにいっぴいつくつてもらいたかです。映画に出てくる人やキャラクターをいっぴいつくつたのしんでもらいたかです。いまは、学校のべんきょうをがんばつています。

3年 古家 魁さん